

pL^AT_EX ニュース 第4号

1998年9月発行

作成者： 中野 賢 (<ken-na at ascii.co.jp>) & 富樫 秀昭 (<hideak-t at ascii.co.jp>)

1 この文書について

この文書は、pL^AT_EX 2_ε<1998/09/01>版について、pL^AT_EX 2_ε<1998/02/17>版からの更新箇所をまとめたものです。これまでの変更点については、plnews*.tex や Changes.txt を参照してください。

この pL^AT_EX 2_ε は、L^AT_EX<1998/06/01>版に対応しています。L^AT_EX レベルでの更新箇所は、L^AT_EX に付属の ltnews ファイルを参照してください。

2 NFSS2 関連

- DeclareFixedCommand をプリアンブル部でしか使えないようにしていたのを修正しました。

3 パッチの取り込み

<1998/02/17> 版へのパッチとして提供していた、つぎの修正を取り込みました。

- jclasses.dtx: \rightmark コマンドの引数に today コマンドを修正したとき、出力される日付が「平成元年」になってしまうのを修正 (pl980409.patch)。
- jclasses.dtx: report と book クラスで、番号の付かない見出しレベルのペナルティを \@M に修正 (pl980323.patch)。
- tascmac.sty: calc パッケージとともに用いたとき、screen 環境、itembox 環境、boxnote 環境がエラーになるのを修正 (pl980227.patch)。

4 フォーマットファイル作成時の注意

現在の pT_EX では、8 ビットコードの連続を 16 ビットコードと認識してしまう場合があります。そのた

め、フランス語やキリル文字などの 8 ビットコードが連続するハイフンパターンはまず使えせん。例えば cmcyralt パッケージでは、途中でつぎのようなエラーになります。

```
(/usr/local/share/texmf/tex/latex/contrib/
other/cmcyralt/rhyphen.tex Russian hyphena
tion
! Bad \patterns.
1.107 . え
          2
?
```

このときは、“?” のプロンプトに対して “x” で終了してください。残念ながら、このハイフンパターンを pT_EX で利用することはできません。

そこで、hyphen.cfg を用意して、不用意に他のハイフンパターンを読み込まないようにしてあります。詳しくは README2.txt をご覧ください。

5 その他

pT_EX や pL^AT_EX 2_ε に関する最新情報は、pT_EX ホームページ

<http://www.ascii.co.jp/pb/ptex>

より、入手することができます。

バグ報告やお問い合わせなどは、電子メールで

www-ptex@ascii.co.jp

までお願いします。